

次世代型集落営農 集落連携100%農場づくりへ

広がる話し合い活動 試される支援機関の提案力

京都府農業会議が提案し、2021年度(令和3)から京都府が予算化した「集落連携100%農場づくり」は、丹後地域の2地区がすでに事業を開始し、22年度の事業開始に向け、話し合いを重ねる地区も増えている。

「集落連携100%農場づくり」は、営農の担い手、地域リーダーが減少する中、集落を越えて広域的に連携することで、人材や予算を確保し、全戸参加の組織(一般社団法人)が耕作者を応援するという発想から誕生した。高齢化などにより営農が困難になった農家の水田を請け負う従来型の集落営農とは本質的に異なる。

地域の農地条件や担い手の状況、地域が抱える課題により、農場のスタイルは多様だが、共通するのは地域での話し合いが入り口となることだ。

亀岡市馬路町(6集落)では、一昨年、自治会の呼びかけで、農業委員、農地利用最適化推進委員、農家

組合長、大規模農家らで話し合い組織「新営農組織設立準備委員会」が設置された。将来100%農場の中心を担う株式会社設立に加え、現在活動中の農作業受託組合や兼業農家も担い手として位置づけ、当面は法人と個人農家が併存する形で、まるごと中間管理方式「に取組む」ことを決めた。全農地をまとめて一般社団法人に委ね、一般社団法人から耕作希望者に農地を再配分する仕組みで、土地持ち非農家を含めた地主の協力が不可欠になる。これまで14回にわたる話し合いを重ね、集落説明会を開催するところまで議論が進んでいる。

福知山市中六人部地域(9集落)では、地域づくり組織の代表(農業委員)が多面的機能支払活動組織などに呼びかけ、地域農業のあり方について検討が始まった。

伊根町では町全域を範囲とした話し合い組織「A-IITクラブ」が立ち上がった。京丹後市の海部南部

モデル地区で「非農地判断」「守るべき農地」を明確化

福知山市・中六人部地域

福知山市農業委員会は、中六人部地域をモデル地区に選定し、農地利用状況調査にあわせて「非農地判断」を推進。既に森林原野化しているなど「農地として再生利用が困難な土地」を区分し、「守るべき農地(圃場整備田、農地として利用可能な土地)」の明確化に取り組んでいる。

3月7日の総会では、藤田重行会長(中六人部の担当農業委員)が進捗状況を報告。「関係者と連携して利用状況調査を行い、守るべき農地が明らかになった」と、地域で将来の土地利用のあり方を検討している取り組みが紹介された。

最高級の抹茶チョコ 「一粒の極み」発売

城陽市茶生産組合

城陽市茶生産組合では、城陽産の最高級抹茶を使った名産品づくりに取り組む抹茶チョコ「一粒の極み」の極みが完成。2月から1箱4個入り2千円で販売を開始した。

城陽市の茶農家が生産する抹茶は、全国茶品評会で一等一席の最高位に輝くことも度々で、一席から三席まで城陽市の茶農家が独占することもあった。

そんな最高級の抹茶を使った抹茶チョコは、1個千円で発売し、「最高級抹茶の魅力を最大限に引き出した味わい」で反響を呼んだ。シリーズ第2弾の今回は、「最高級抹茶のうま味、味わい、香りを最大限に引き出した魅惑の抹茶チョコ」を商品化。ホワイトチョコレートと抹茶の相性が抜群で、贈答用にも適した逸品に仕上げた。

同組合の北澤喜則組合長(49)は「茶農家が認める城陽の名産品として定着してほしい」と期待している。

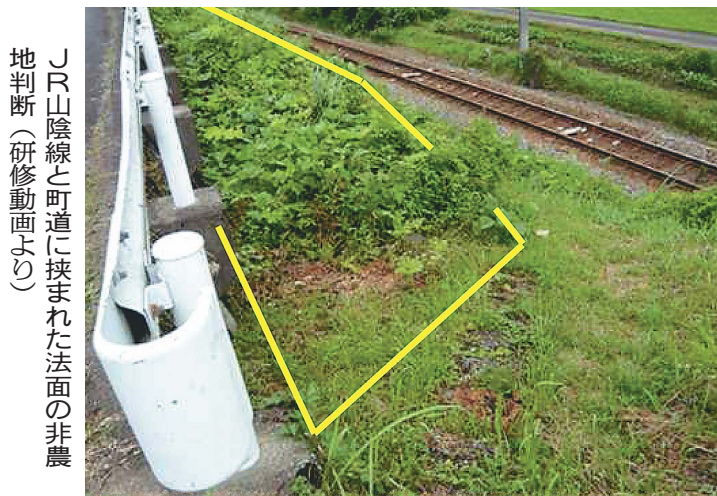


一粒の極み(上)と北澤組合長(左)



非農地判断のポイントを実例で解説!

職員研究会 研修動画を作成



JR山陰線と町道に挟まれた法面の非農地判断(研修動画より)



動画を収録する永武会長(30分間)

京都府農業委員会等職員研究会の永武幸子会長(京丹波町農業委員会事務局)が、動画「農地利用状況調査実例による非農地判断のポイント」を作成し、全国農業委員会職員協議会を通じて全国1702市町村農業委員会に配信。府内外の事務局職員が早速視聴し、「写真で非農地と判断する基準がわかりやすい」「今年の利用状況調査の説明で使いたい」と感想を寄せている。

実例による非農地判断のポイントでは、京丹波町農業委員会の委員が撮影した写真を使用。「すでに山林の獣害柵の外側に位置する」「水利や進

都市農地制度・税制と「相続対策」学ぶ

乙訓農協協議会 オンラインで「合同研修会」

乙訓地域(向日市・長岡京市・大山崎町)の農業委員会が、3月7日と8日、「都市農地制度・税制と農家の相続対策」をテーマに合同研修会を開催。農家相談活動の充実に向けて、相続納税猶予や特定生産緑地協議会事務局の長岡京市が



向日市の研修参加者(3月7日)

現在、非農地判断の候補地について最終確認を行っており、作業が終わり次第だ。(福知山市農業委員会)

女性の活躍を応援!

久御山町内の農業法人や新規就農者には活気があ

り、とても頼もしいと思う一方で、もっと女性が家の外で活躍できる場を増やしたいと感じています。「きょうと女性農業委員・推進委員の会」で知り合った近隣の女性委員と一緒にマルシェに参加し、女性が気軽に参加して活躍できる場所やイベント

「女性委員の会」は、今月、会員アンケートでSDGsの取り組みを集めました。私の場合は、廃棄する野菜を減らすため、干して料理に使うほか、漬物にしていますが、他の委員の優れた取り組みにも学び、周囲に広げていきたいと考えます。

委員として、女性が活躍できる環境づくりを進めるために頑張ります。(久御山町農業委員会・中村日出美委員)

京都府支局
京都府農業会議

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2
府庁西別館内
075-441-3660